

明治期～大正期～昭和期（戦中まで）の年表

3 昭和期（昭和 20 年まで）

近代日本の指導者は、日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦などの戦勝を経て、軍部をはじめ、諸外国に引けを取らない国力をつけたと感じていたように思う。また、天皇の存在は誠に大きく、指導者は、天皇の力にあやかっ、国の舵をとった。

ヨーロッパ等では、第一次世界大戦の敗戦国ドイツに莫大な賠償金を要求した。これがドイツ国内にヒトラー率いるナチスの誕生を促し、第二次世界大戦になってしまった遠因でもあろう。

昭和に入ると、世界大恐慌が起こり、日本では軍部が台頭し満州事変から日中戦争、太平洋戦争へと長い泥沼に入り込んでしまった。昭和に入ってから日本は、戦争や事変に明け暮れていた。

一方、科学技術の進歩は、戦争に利用され、大量殺戮兵器が、人間を虫けらのように葬った。1938年に発見された、核分裂反応は、1945年原子爆弾となってしまった。

日本ばかりではないが、どうやら人間は、力を持つと、理由をつけ、弱いと思われる相手を支配したくなる動物のようだ。人間は、罪も無い人々をも抹殺し、人殺しを正当化するものらしい。一方、生命を大切にし、慈悲深く、お互いに協力し、助け合うことができるのも人間なのだが。

1927(昭 2)	昭和金融恐慌（日本）	世界初の汎用プラスチック（塩ビ）
1928(昭 3)		不確定性原理 ペニシリンの発見
1929(昭 4)	世界大恐慌（～1936？）始まる	
1930(昭 5)		
1931(昭 6)	満州事変（9月～）	
1932(昭 7)	満州事変（～2月） 5.15 事件	中性子発見
1933(昭 8)	日本・国際連盟脱退	ナチスのユダヤ人迫害始まる
1934(昭 9)	ドイツに総統ヒトラー（～1945）	（ドイツ）テレビ放送開始
1935(昭 10)		中間子理論 制服変更、国防色となる
1936(昭 11)	2.26 事件	
1937(昭 12)	日中戦争（7月～1945, 9月）	
1938(昭 13)	日中戦争	核分裂反応の発見
1939(昭 14)	第二次世界大戦（9月～）、日中戦争	
1940(昭 15)	第二次世界大戦、日中戦争	日独伊三国同盟
1941(昭 16)	第二次世界大戦（太平洋戦争※）（～1945） ※日中戦争含む	
1942(昭 17)	第二次世界大戦（太平洋戦争※）	原子炉設計
1943(昭 18)	第二次世界大戦（太平洋戦争※）	
1944(昭 19)	第二次世界大戦（太平洋戦争※）	イタリア降伏
1945(昭 20)	第二次世界大戦（太平洋戦争※）（～9月）	ドイツ降伏 原子爆弾初実験 日本降伏 国際連合成立

(12月29日 文責 村山)